1,7,10,10	
	議事録
会議名	令和7年第2回安城警察署協議会
日時・場	令和7年6月6日(金)午後3時00分から午後5時10分までの間
所	安城警察署 3 階講堂
出席者	1 委員8名(定数12名)
	加藤 領助 会長 山田 彩織 副会長 山田 哲夫 委員
	佐藤 佑衣 委員 柴橋 邦彦 委員 鈴木 一 委員
	江田タケシ委員 中川 友里 委員
	2 警察署員 10 名
	杉村署長 石黒副署長 長屋捜査指導官
	横田警務課長 手塚会計課長 山神生活安全課長
	南地域課長 片岡刑事課長 服部交通課長
	深津警備課長
	3 有識者等
	なし
1 A E +	└ ┷ `

- 1 会長挨拶
- 2 署長挨拶
- 3 幹部紹介
- 4 報告内容
 - (1) 管内の犯罪発生状況(生活安全課長説明)
 - (2) 管内の交通事故発生状況(交通課長説明)
 - (3) 前回の意見・要望に対する具体的施策の推進状況(警務課長説明)
 - ア 前回の協議事項

業務改善方策

- イ 前回の意見・要望
 - ・ 工夫を凝らした残業を減らす取組み
 - ・ 上司から部下へ感謝する場面の創出(モチベーションの向上)
 - ・ 業務を担当者任せにしない取組み
 - ・ 海外を含めた他組織の業務改善の紹介
- ウ 施策推進状況
 - · マイテイジプランの策定、定時退庁を促す看板を設置した。
 - ・ 署員のコミュニケーション活性化を図る為、署員全員から趣味に関するアンケートを実施して公開し、その結果を話題作りのきっかけとした。

- ・ 賞揚基準を見直し、賞揚機会を拡充し、朝礼時等で表彰を実施することで署員のモチベーションを高めた。
- ・ 担当業務一覧表を作成し、主業務と副業務を明示し担当者不在時でも 業務に遅滞が生じないようにした。
- ・ 紙面において海外警察の業務改善への取組を紹介した。

5 協議事項

災害に備えた自助意識向上方策

- 6 発言の要旨
 - ・ 地域には高齢者が多く、災害に関する情報を知るすべがない。
 - ・ 災害に対し事前に備えておく必要があるのは分かるが、何を備えればよい のか分からない。
 - 自らの命は自分で守るという意識付けが必要である。
 - 災害を意識して居住地周辺を歩き回れば発見があるのではないか。
 - ハザードマップや防災マップを入手しておくと備えがしやすい。
 - ・ 災害発生時は自助が必要であり、自分自身が自助にどれだけ備えているか を知っておく必要がある。
 - ・ 外国人は災害情報を得るのに苦労しており、SNS で情報が得られるように なればよいのではないか。
 - ・ 学校や子どもへの防災教育も必要である。
 - あらゆるイベントを通じて災害に対する備えと自助が必要であることを訴えなければならない。

7 意見・要望

- ・ SNS、イベント等での自助診断の実施
- ・ 警察広報を活用した自助情報の発信
- 8 その他
 - (1) 選挙運動の制限に関する文書の配付と告知
 - (2) 次回開催予定

令和7年8月下旬から9月上旬ころ